

北海道 文教 広報

創立80周年記念式典
2023年4月 医療保健科学部スタート
えこりん村で「SDGs研修」実施
3年ぶりのF校祭
HBU野球部快進撃



戦後、豊平館にてテーブルマナー実習後に記念撮影。



▲開校当時の校舎は、札幌市の狸小路近くにあった(昭和22年頃撮影)。

▶料理研究家でもあった新太郎先生の著書(昭和5年)。



創設者 鶴岡新太郎先生と鶴岡トシ先生。

式典では、理事長式辞のほか、「未来へのメッセージ」と題して、本学学生、附属高校の生徒、附属幼稚園に保育教諭として勤務している本学卒業生から、力強いメッセージが読み上げられました。

こうしたなか、いよいよ2023年4月には、医療保健科学部がスタートし、近い将来に予測される医療や保健への需要の増加・多様化、グローバル化、ICT技術の革新などの環境変化に適応できる人材育成を行ってまいります。

道民ひいては日本国民の健康を願い、本学園を創立した鶴岡新太郎先生とトシ先生が遺された「清く正しく雄々しく進め」の言葉を胸に、20年後に迎える100周年に向かって邁進してまいりますので、今後ともご支援賜りますよう心よりお願い申し上げます。

学校法人鶴岡学園 理事長 鈴木 武夫

6月8日に鶴岡学園は創立80周年を迎えました。

故鶴岡トシ先生との出会いから、理事として学園運営に携わることになり、さまざまな困難に直面しながらも、建学の精神を支えに乗り越え、80周年という節目を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様をはじめ、保護者の皆様、卒業生や教職員の皆様、そして多くの関係者の皆様に支えていただいたおかげと、鶴岡学園を代表して厚くお礼申し上げます。

本来であれば、学外からもお客様をお迎えて創立記念式典を開催するところですが、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、今回は本学園関係者のみで、80周年記念式典を鶴岡記念講堂にて執り行いました。

式典前には、本学の映画プロジェクトが制作した『かばちゃんのおほ恵み』を上映したほか、作業療法学科の瀧山晃弘教授により、リストやスクリャーピンの作品の見事なピアノ演奏が披露されました。

1942年開校 北海道女子栄養学校から北海道文教大学へ 鶴岡学園創立80周年 記念式典



前職に就いていた頃から第2代理事長の鶴岡トシ先生を助け、68歳で理事長に就任した鈴木武夫理事長。現在も鶴岡学園運営の最前線で指揮をとる。

1942年、札幌市の中心街の一角で産声をあげた北海道女子栄養学校。6月8日、鶴岡記念講堂で、「鶴岡学園創立80周年記念式典」を挙行了しました。

学校法人鶴岡学園は、1942年6月に開校した「北海道女子栄養学校」が始まりです。

全国で6番目となる栄養学校（2年制）を創設した鶴岡新太郎・トシ夫妻は、「国民の健康は国の力」と訴え、戦時中という高いハードルを乗り越えて、開学への道を拓きました。その情熱は脈々と今日まで受け継がれています。

しかし、過去には、資金面で困難な事態に直面した時期もありました。80周年という歴史は、現・

次代を担う3名が「未来へのメッセージ」を語る



学友会中央執行委員会委員長
こども発達学科3年 木下克希さん



レバンガ北海道U18の附属高校2年
赤根涼介さん



こども発達学科OBで、附属幼稚園
保育教諭・石田剛大さん

100歳長寿時代の 未来へ 2023年4月 「医療保健科学部」 スタート



日本社会は今、医療環境の変化や少子高齢化といった課題を抱えています。北海道文教大学では、こうした課題を見据えて、「人間科学部」の学科を再編し、新たに「医療保健科学部」を創設することとなりました。

この学部の学科は、看護学科、リハビリテーション学科（理学療法学専攻、作業療法学専攻）の2学科です。医療保健科学部は地域と連携をはかりながら、超高齢社会、高度医療化に対応できる高度な知識と技術を持つ医療人材を育成していきます。

鈴木武夫理事長の尽力と、教職員の地道な努力、同窓会や関係者の方々の応援があったからこそ成し得た結果といえるでしょう。

記念式典には、鈴木武夫第7代理事長をはじめ、50余年にわたり故・鶴岡トシ第2代理事長や鈴木理事長を支えてきた浅見晴江事務局長、渡部俊弘北海道文教大学学長、佐々木淑子北海道文教大学附属高等学校校長ほか、理事、評議員、教職員、同窓会会員、高校・大学の代表など関係者が参列しました。

また、式典の最後には、大学、附属高校、OBの代表が鶴岡学園のさらなる発展に向けて「未来へのメッセージ」を贈り、無事に閉幕となりました。



コロナ感染予防のため、参列者数を控えての開催となった。



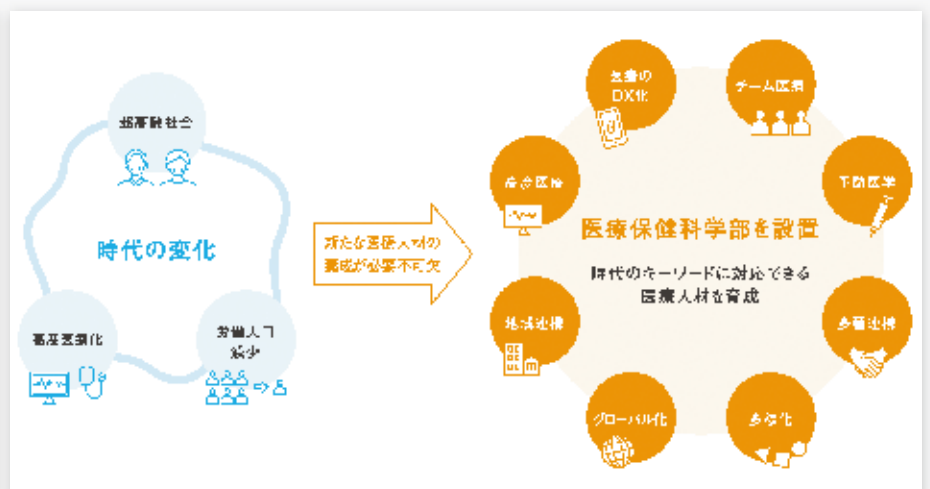
同窓会の方々も全国各地から参列。



80周年を祝い、国内外のコンクールで数々の入賞歴を持つ瀧山晃弘教授(作業療法学科)も名演奏を披露。



ステージには、前列左から鈴木武夫理事長、浅見晴江事務局長、渡部俊弘学長をはじめ、理事・監事が着席。



HBU&附属高校も参加! 6/25~7/24 第39回 全国都市緑化北海道フェア ガーデンフェスタ北海道2022

F高園芸部

夏の訪れを告げる恒例の全国都市緑化北海道フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」が、恵庭市南島松にある「花の拠点はなふる」で開催されました。色とりどりの花で埋め尽くされた会場には、HBUと包括提携協定を結んでいる株式会社コクサクとのコラボで造園した「トシさんの庭」も登場。じつは、創設者の鶴岡トシ先生は華道教授として学生に活け花を指導していました。花を愛でることで困難を乗り越えていたというエピソードもあるほど、トシ先生は花を愛していたそうです。

庭造りには、会場のボランティアとして附属高校の生徒たちも参加。市民ボランティアとともに花を植えました。曇り空の下での作業となりましたが、園芸部員はみんな笑顔。ガーデニングには、ストレスを和らげる効果があります。専門用語で「園芸療法」といいますが、あふれる笑顔がそれを証明しているようです。「花のまち恵庭」に乾杯!



【北海道文教大学写真部 酒井美紅さん提供】



市民ボランティアとして会場内の庭造りに参加。

附属高校製菓科料理研究部は「cafe福座」 「CAFE食堂.キズナ」と共同で、サンドイッチを開発&販売



CAFE食堂.キズナの皆さんと記念撮影。



附属高校×cafe福座「ハサムハスカップ」。



附属高校×CAFE食堂.キズナ
「えにわ産ド 香りと刺激のジェ
ノベーゼ」。

HBU 全学科新入生対象 えこりん村で総合教養講座「SDGs 研修」実施

昨今よく聞く「SDGs(エス・ディー・ジーズ)。日本語では「持続可能な開発目標」と訳されていますが、この5月、全学科の新入生を対象に、「エコロジーテーマガーデン えこりん村」で、SDGs研修を行いました。

えこりん村は、ハンバーグレストラン「びっくりドンキー」を全国展開する株式会社アレフが運営。HBUは昨年、アレフと包括連携協定を結びました。

えこりん村では生ゴミによるバイオガスや、廃食用油によるバイオディーゼル燃料で発電するなど、脱炭素社会、循環型社会の実現に向けた取組を進めています。

一方、本学も北海道文教大学出版会刊行の『SDGs HANDBOOK』を学生と教職員に配布するなどの取組を続けてきました。

研修では、園内施設の「とまとの森」の見学や、羊



この日の参加者全員で記念撮影

毛を使った人形の制作などを体験。学生の皆さんは、恵庭市内の観光施設という身近な場所で行われているSDGsの取組を実感し、刺激的な1日となったようです。



えこりん村の取組についてレクチャーを受ける。



「とまとの森」では、たわわに実るミニトマトに歓声が響いた。



えこりん村で飼育されている羊の毛を使って人形を作る。

使いやすいと大評判!! 看護学科 多賀昌江准教授監修の 『看護学生実習用ノート』誕生

人間科学部看護学科の多賀昌江准教授が監修者の一人として参加した『看護学生実習用ノート』が話題を呼んでいます。

これは、看護師の山本典子さんが代表取締役を務める株式会社メディア医療デザイン研究所（福井県鯖江市）が開発・販売しているもの。制服のポケットに収まり、紛失防止用のストラップ穴付き。寝る間もないほど忙しい看護実習をサポートしてくれる心強い味方です。



購入は
メディア医療
デザイン研究所の
公式サイトで



北海道文教大学 附属幼稚園 2022 夏便り



恵庭市の保育園民営化方針に応じて、漁町に「幼保連携型認定こども園 北海道文教大学附属幼稚園」を開いて2年目の夏を迎えます。運営する学校法人鶴岡学園は、札幌市南区で52年間、大学附属の幼稚園を運営してきました。恵庭での幼稚園開園は、恵庭市立すずらん保育園の園児の皆さんを母体としての出発です。引き継ぎ準備に十分な時間をかけたとはいえ、さまざまな課題に直面する1年間でした。

しかし、9月には広々とした園庭の整備も終え、子どもたちは思う存分走り回れるようになりました。また、2階ベランダにおける水遊びは、園外からの視線を気にせず遊べる環境です。保護者の皆様からは「安心できる」との声をいただいています。

ところで、附属幼稚園では恵庭市の関係諸機関と協働による特別支援教育や、北海道文教大学の人間科学部や附属高校との連携もはかっています。学生・生徒たちは、座学では学ぶことができない子どもの姿に触れ、思考を深めているようです。

また、いっぽうでは、幼保連携型認定こども園の特性を活かして、「園庭開放」「みんなおいでよ」という地域の子育て中の方々に向けた子育て支援事業も展開しています。

保育者の献身的な努力と研鑽あってこそその現在ですが、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

園長 小田進一



3年ぶりのF高祭開催

新型コロナウイルス感染症の影響で2年間中止となっていた学校祭が7月7日（木）、8日（金）の2日日程で行われました。感染対策のため入場や活動の制限はありましたが、徐々に校内に賑わいが戻りました。恵庭移転後、新校舎では初めての学校祭ということもあり、生徒会執行部はその企画・内容・準備等に創意工夫を重ね、本番での生徒たちのワクワク感も最高潮に達するなど次年度につながる素晴らしい生徒会行事となりました。



女子サッカー部 インターハイ出場

F高女子サッカー部は、令和4年度第11回北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会（網走市）に出場し、決勝戦で北海道大谷室蘭高校を2-0で破り、見事優勝を果たしました。日々の厳しい練習を仲間と支えながら乗り越えてきた選手の努力が実りました。

今年度の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）は7月26日（火）より徳島県で行われます。引き続き応援よろしくお祈りします。



学校法人鶴岡学園創立80周年記念「特別講師によるバレーボール授業」

6月22日（水）、23日（木）の2日間、全学年を対象に体育の授業で、越川 優氏からバレーボールの実技指導を受けました。越川氏は高校生初の全日本代表入りを果たしたバレーボールの元全日本選手で、Vリーグのサントリーサンバーズやイタリアプロリーグ・セリエAでも活躍しました。2020年8月にヴォレアス北海道へ入団し、2022年5月に引退会見を行いました。

越川氏の世界レベルの技術と巧みな話術も相まって、生徒たちはバレーボールの「楽しさ」を知る貴重な機会となりました。このような「楽しさ」を実感することで、他のスポーツや文化、芸術はもちろんのこと、学校生活や日常生活の中でも挑戦する意欲やワクワク感が一段と高まることを期待します。



世界で飛躍するF高生

F高で学ぶレバンガ北海道U18の内藤輝悠（ないとう・てるちか）選手は男子U16日本代表選手に選ばれ、ドーハ（カタール）で開催された「FIBA U16アジア選手権2022」（6月）に出場しました。日本は見事に2位となり、7月初旬にマラガ（スペイン）で開催された「FIBA U17 バスケットボールワールドカップ スペイン2022」に出場しました。



北海道文教大学野球部

総監督・樋越勉氏、監督・高橋葉一氏を迎えて快進撃 2022年度春季リーグ戦 札幌学生野球連盟3部1位



▲スポーツニッポン 2022年4月8日より

札幌6大学野球リーグ3部に所属する北海道文教大学野球部。「文武両道」を掲げる北海道文教大学ではスポーツにも力を入れています。この4月、野球部に総監督と監督を新たに迎えました。

総監督に就任した樋越勉(ひごし・つとむ)氏は、東京農業大学北海道オホーツク硬式野球部で1990年か



▲初優勝を飾った硬式野球部。

ら監督を務め、16人のプロ選手を輩出。監督に就任した高橋葉一(たかはし・よういち)氏は、2017年に東海大北海道(現東海大札幌)野球部を全日本大学選手権で4強に進出させた経験の持ち主です。

樋越総監督が東都大学野球連盟の

副理事長を務めているため、現場では高橋監督が指揮をとっていますが、最終目標は日本一。まずは3年後に札幌6大学の1部昇格が目標です。そして、5月に開催された春季3部リーグ戦では、初優勝を飾りました。がんばれ、HBU野球部!

「女子アイスホッケー支援部」発足



▲記者発表会には北京冬季五輪出場した志賀紅音さんも出席(前列右から2人目)。

HBUには、北京冬季五輪に出場したFWの志賀紅音さん(健康栄養学科)をはじめ、国内リーグで活躍する11名の選手が在籍しています。女子アイスホッケー部がないため、どの選手も苫小牧や札幌のチームに所属。大学として選手の支援方法を探ってきましたが、このたび栄養指導やトレーニングをサポートする「女子アイスホッケー支援部」を発足し、7月12日に記者発表しました。

支援部は、理学療法学科と健康栄養学科の教員2名と選手11名でスタート。公認スポーツ栄養士の資格を持つ教員による栄養アドバイスに加えて、理学療法学科はスポーツ靴用「入谷式インソール」の作製や、「レッドコード」によるトレーニング支援などを行う予定です。学生の部員も募集中。日頃の学習成果を支援部で活かしてみませんか?

6月8日～12日

第31回YOSAKOIソーラン祭り参加 「陽燕(ひえん)」の踊りに拍手喝采!!



北海道文教大学写真部
酒井美紅さん提供



HBUチームが参加するのは今年で12回目。今年は「四季」を表現しました。

参加者全員が本祭初体験。思いっきり汗をかいて、日頃の練習成果を皆さんに見ていただきました。

学びの成果を学外で HBUアクティブ・ラーニング

社会と接点を持ちながら自発的に活動するHBU学生が増加中です。今号では、新聞記事にも取り上げられたいくつかの活動をご紹介します。

健康栄養学科「商品開発研究会」×「ロバパン」 トシさんあんぱん開発販売



道産材料にこだわり

【道産】北海道大（道産）の学生と道内パン製造大手のロバパン（札幌）が、道産の小豆と小麦を使ったあんぱんを共同開発した。同大の製菓者顧問トシ氏の名前がちな「トシさんのあんぱん」と名付けた。道内主要スーパーで販売している。

同大と同社が昨年8月に結んだ包括連携協定を記して企画。同

道文教大・ロバパン 共同開発
「トシさんのあんぱん」をPRする北海道文教大の学生

社社員がJR恵庭駅にある同大のPR看板に描かれたあんぱんを口にくわえる若き口の鶴岡氏のイメージイラストを見て、商品開発を思いついた。健康栄養学科の学生でつくる商品開発研究会の17人が同社社員と協力を重ね、完成させた。

パン生地はもちもちとした食感で、「しゅりゃり小豆」を使ったあんぱんは甘さを控えめにした。鶴岡氏のイラスト入りのパッケージも学生が考案した。

同大4年の西原（きさき）さんは「トシさんが現代にいたらどんなあんぱんを食べているか想像して作った。同社の坂爪弘治設備管理部長は「小豆の上品な香りと味を生かした商品ができた」とPRする。標準小売価格は1個140円。（中川博）

▲北海道新聞 2022年5月3日朝刊より

国際交流サークル「English Speaking Society」 恵庭市内飲食店パンフレット制作



飲食店巡り このパンフ必携

【恵庭】北海道文教大の国際交流サークル「English Speaking Society」は、恵庭市内の飲食店を巡り、パンフレット制作に取り組んでいる。恵庭市内の飲食店を巡り、パンフレット制作に取り組んでいる。恵庭市内の飲食店を巡り、パンフレット制作に取り組んでいる。

道文教大生 恵庭の9店紹介

北海道文教大生がまとめた「JR恵庭駅と南大沼周辺の飲食店のパンフレット」

▲北海道新聞 2022年5月20日朝刊より



健康栄養学科×ポッカサッポロ北海道 料理冊子 『レモンレシピ100』発行



道文教大生考案レモン料理

ポッカと協力レシピ冊子発行

北海道文教大（恵庭市）は、レモン果汁「ポッカレモン100」を製造するポッカサッポロフード&ビバレッジの子会社で、協定したレモンを学生や教職員、付属高校生たちから募集した「レモンレシピ100」で、レシピをまとめた冊子「レモンレシピ100」を発行した。冊子はオールカラーのA5判で72ページ、4000部を印刷し、関係者に配布する。問い合わせは同大企画調整部（011-233-3400）へ。

道文教大は同社と昨年8月に包括連携協定を結んだ。同

冊子は、レモン果汁「ポッカレモン100」を製造するポッカサッポロフード&ビバレッジの子会社で、協定したレモンを学生や教職員、付属高校生たちから募集した「レモンレシピ100」で、レシピをまとめた冊子「レモンレシピ100」を発行した。冊子はオールカラーのA5判で72ページ、4000部を印刷し、関係者に配布する。問い合わせは同大企画調整部（011-233-3400）へ。

▲読売新聞 2022年5月18日朝刊より

新着 包括連携協定

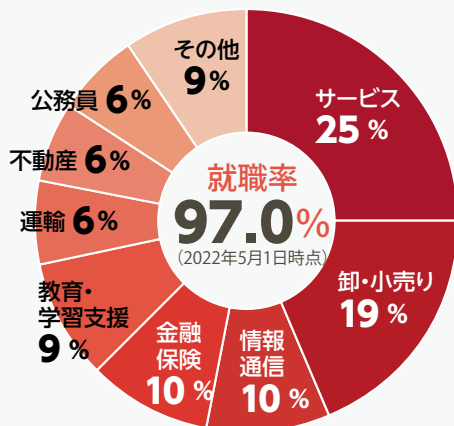
- 3月31日 **株式会社ネクストビート**
副社長COO:石毛陽子 様
- 4月1日 **日本地域創生学会及び地域創生実践総合研究所**
会長及び所長:木村俊昭 様
- 4月12日 **平取町**
町長:遠藤桂一 様
- 4月15日 **北海道整形外科記念病院**
理事長:加藤貞利 様
- 4月18日 **株式会社ふくれん**
代表取締役社長:中村卓 様
- 5月11日 **学校法人リズム学園**
理事長:押見俊哉 様
- 5月12日 **恵庭ライオンズクラブ**
会長:水上勝義 様
- 5月19日 **Hokkaido Alpine Resorts Management合同会社**
GM:前川孝也 様



HBUから新たなステージへ 令和3年度就職率

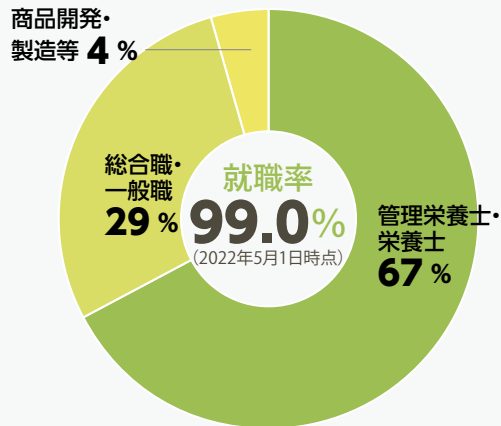
(2022年3月卒表)

外国語学部 国際言語学科



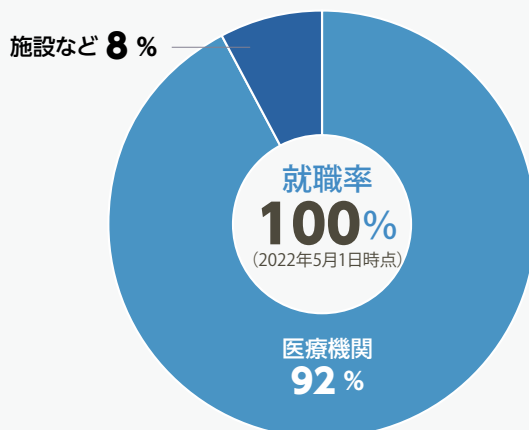
留学生を除く32名が、サービス業、卸・小売り、情報通信、金融保険などの企業や団体に就職しました。

人間科学部 健康栄養学科



就職者95名は、道内外の病院、福祉施設、自治体、食品関連企業などで活躍しています。

人間科学部 理学療法学科



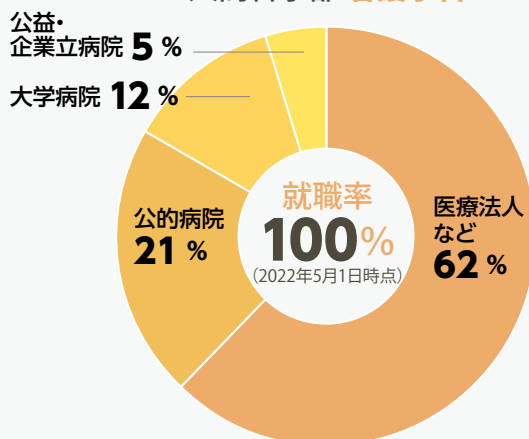
国家試験合格者79名のうち、73名が医療機関、2名が福祉施設に就職しました。

人間科学部 作業療法学科



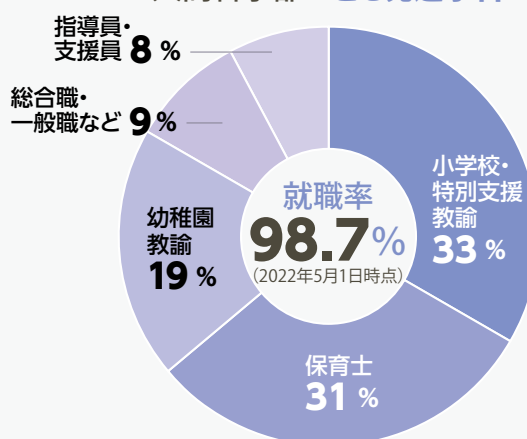
国家試験合格者27名全員が医療機関に就職しました。

人間科学部 看護学科



就職者85名は、医療法人をはじめ、公的病院、大学病院、公益・企業立病院で奮闘しています。

人間科学部 こども発達学科



小学校・特別支援教諭26名をはじめ、保育士、幼稚園教諭総合職・一般職、指導員・支援員など78名が就職しました。

令和3年度(2021年度) 鶴岡学園事業報告

I 学校法人の概要

学生・生徒・園児数の状況

学校名	入学定員数	収容定員	現員数
北海道文教大学 大学院グローバルコミュニケーション研究科	5	10	5
北海道文教大学 大学院健康栄養科学研究科	4	8	3
北海道文教大学 大学院リハビリテーション科学研究科	4	8	13
北海道文教大学 大学院こども発達学研究科	4	8	6
北海道文教大学 外国語学部	100	300	152
北海道文教大学 人間科学部	450	1,800	1,620
北海道文教大学 国際学部	100	100	54
北海道文教大学附属高等学校	160	480	437
幼保連携型認定こども園北海道文教大学附属幼稚園	—	110	98

(令和3年5月1日現在) / 単位:人

教職員の概要

区分	法人	大学院	大学	高校	幼稚園	計	
教員	本務	—	1	116	26	23	166
	兼務	—	2	80	19	5	106
職員	本務	3	0	63	4	2	72
	兼務	0	0	2	0	0	2

(令和3年5月1日現在) / 単位:人

役員の概要

区分	氏名	常勤・非常勤の別	業務執行・非業務執行の別	現職	備考
理事長	鈴木 武夫	常勤	業務執行		昭和44年4月理事就任 平成12年4月理事長就任
常務理事	浅見 晴江	常勤	業務執行	事務局長	平成16年6月理事就任 平成24年12月常務理事就任
理事	渡部 俊弘	常勤	業務執行	大学長 大学教授	平成30年3月理事就任
理事	伊藤 雅夫	非常勤	非業務執行		平成4年4月理事就任
理事	中村 至	非常勤	非業務執行	鶴岡学園 参与	平成28年6月理事就任
理事	松本 博樹	非常勤	非業務執行		平成28年6月理事就任
理事	玉川 裕一	非常勤	非業務執行	㈱玉川組 代表取締役社長	令和2年7月理事就任
監事	鈴木 豊	非常勤		公認会計士 鈴木豊事務所	平成17年5月監事就任
監事	荻根澤 則文	非常勤			平成28年6月監事就任

(令和4年5月1日現在)

施設等の概要

キャンパス名	所在地	面積	
		土地(m ²)	建物(m ²)
札幌キャンパス	札幌市南区藤野 400 番地他	97,589	17,260
北海道文教大学	恵庭市黄金中央 5 丁目 196 番地の 1	100,534	34,835
北海道文教大学附属高等学校	恵庭市黄金中央 5 丁目 207 番 11	12,297	8,086
幼保連携型認定こども園			
北海道文教大学附属幼稚園	恵庭市漁町 396 番	4,087	1,209

(令和4年5月1日現在)

評議員の概要

氏名	在任年月	主な現職等
渡部 俊弘	4年1か月	理事、北海道文教大学長
山本 淑子	9年11か月	鶴岡学園事務局財務部長
佐々木 淑子	1年10か月	北海道文教大学附属高等学校長
浅見 晴江	34年0か月	常務理事、鶴岡学園事務局長
北崎 迪子	30年1か月	無職
池田 啓子	16年11か月	無職
小向 朝子	11年11か月	無職
野呂 美貴子	1年10か月	無職
鈴木 武夫	53年1か月	理事長
伊藤 雅夫	30年1か月	理事
中村 至	17年11か月	理事、鶴岡学園参与
小田 進一	5年11か月	認定こども園北海道文教大学附属幼稚園長
松本 博樹	4年11か月	理事
玉川 裕一	1年10か月	理事、㈱玉川組代表取締役社長
三枝 和也	4年11か月	学校法人柳城学院事務局長

(令和4年5月1日現在)

II 事業の概要

1. 法人の事業概要

(1) 理事会・評議員会の開催状況

会議名	開催回数
理事会	6回
評議員会	3回

(2) 主な施設設備の取得とその進捗状況 (単位:千円)

【特別事業】複数年度計画	予算額	実績額
① キャンパスグラウンドデザインの再構築 (大学校舎整備)実施年度 令和3~5年度	100,000	1,925
② 附属幼稚園建設用地購入 実施年度 令和2~3年度 (総事業費 95,000千円、解体費 2棟含む R2_56,692千円、R3_30,000千円)	30,000	24,018
③ 鶴岡学園創立 80周年記念事業 実施年度 令和3~4年度	30,000	1,552
計	160,000	27,495
【学園事業】	予算額	実績額
① 新型コロナウイルス感染症対応等	30,000	30,000
② 新型コロナウイルス感染症対策に伴うワクチンの職域接種	8,653	8,653
③ 札幌キャンパス跡地整備	20,000	20,000
計	58,653	58,653
【奨学金事業】給付奨学金及び特待制度等により学生・生徒の支援	予算額	実績額
① 私費留学生授業料等減免	8,994	5,416
② 在学生成績特待・スポーツ特待減免	45,310	31,372
③ 緊急支援学費等減免	3,000	0
④ 北海道文教大学奨学金 (経済的理由により修学が困難な学生他)	12,960	8,041
計	70,264	44,829
【奨学金事業】給付奨学金及び特待制度等により学生・生徒の支援	予算額	実績額
① 特待生制度等減免 第1回補正 定員超過による増額(収容定員160名→現員201名)	30,763	46,735
② ニューホープ奨学金	16,368	16,368
計	47,131	63,103

【修学支援事業】コロナ禍における学生支援	予算額	実績額
大学 学生修学支援 (大学)	30,000	0
高校 放課後学習支援システムの導入 (高校)	20,000	16,283
計	50,000	16,283
【募集・広報活動事業】	予算額	実績額
国際学部完成年度へ向けた定員充足に係る広報募集活動 実施年度 令和3~令和5年度 (総事業費 60,000千円 R3_30,000千円、R4_20,000千円、R5_10,000千円)	40,000	40,606
第1回補正 (総事業費 60,000千円 R3_40,000千円、R4_10,000千円、R5_10,000千円)		
計	40,000	40,606
【施設設備整備事業】	予算額	実績額
大学 普通教室の環境改善(空調設備工事)	62,700	61,121
法人 元パークゴルフ場の再利用(総工事費22,000千円)	18,000	21,780
法人 第1回補正 土地に係る経費につき法人で計上	4,000	4,000
法人 グラウンドの整備(総工事費23,870千円)	19,590	22,653
法人 第1回補正 土地に係る経費につき法人で計上	4,280	4,280
大学 体育館附属トレーニング室の機器の更新 (大学)	13,130	16,329
高校 実施年度 令和3~4年度 (総工事費 16,000千円) (高校)	2,870	29,700
こども園 外構及び園庭工事	30,000	29,700
計	154,570	151,583
事業計画	予算額	実績額
法人 第1回補正	104,523	103,086
大学 第1回補正	216,094	162,885
高校 第1回補正	112,574	99,889
こども園	30,000	29,700
総計 第1回補正	463,191	395,560

北海道文教大学・大学院

令和2年度に設置した大学運営会議のもと、経営と教学が企画の段階から情報を共有し、教職協働による戦略的な大学経営を行うことを目指して、学長のガバナンスの下、教育・研究の重点施策として次のような事業を行った。

1) コロナ禍においても教育研究の質保証の向上

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、原則対面授業を行うとともに、遠隔授業においても効果的な活用を模索し、教育研究の質保証の強化に努めた。

2) 国際化戦略の推進による国際性のある人材の養成

令和3年4月に外国語学部を国際学部へ改組したことから、より一層国際化を進めるため、1号館に国際交流センターを設置し、国際性のある人材が養成できるよう取り組んでいる。

3) 地域連携や社会貢献に積極的に取り組むとともに、地域に開かれた大学を目指す取組を推進

包括連携協定や共同研究体制等を整備・充実させ、本学の研究成果を地域社会へ還元できるよう努めるとともに、キャンパスの開放を一層進めた。

さらに、恵庭市と地域と大学の連携・共生を目指して、「恵庭・知のプラットフォーム」を構築していくことで合意し、令和4年度に「地域創造研究センター（仮称）」を大学内に設置することを予定している。

4) 2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）への取組を推進

2021年度を「SDGs元年」として、教職員向けに公開シンポジウムなどを視聴する機会を複数回設けたほか、『SDGsハンドブック』を作成した。

5) キャンパスグランドデザインの再構築を見据えた、研究・教育体制の充実や環境整備

学園創設の理念である「食」を中心としたビジョン（コンセプト）の再整理を目的として、知財調査・ストーリー設計を行った。今後、本学が有する知財のデジタル化を進めるとともに、キャンパスグランドデザインの再編計画を作ることにしている。

6) 先端的教育・研究事業を推進

先端的な医療・バイオテクノロジー分野において、研究機関や研究分野を超えた横断的な研究開発活動を推進するとともに、研究業績集を作成した。

7) 大学ブランド力や研究力の向上

令和3年9月に「北海道文教大学出版会」を設立し、本学創設者の『鶴岡トシ物語』をもとに、『トシさんが行く!』、『SDGsハンドブック』、『保育士の卵ワケありにつき』、『北海道文教大学コラム集 現代社会の食と健康を考える』を出版。大学のブランド力や研究力の向上に資する取組とした。

北海道文教大学附属高等学校

令和3年度の開校式を経て1年間、全教職員が学校経営のスローガン「いきる学びを一人一人へ信頼を創る学校づくり」を意識し、教育活動に当たった。①高大連携を強化した教育体制の確立②国公立大学への進学支援③全国レベルの専門教育の推進④保護者・地域から信頼される安心・安全な学校運営の継続の実現のため、家庭や地域との連携を図り、「学びを止めない」ための授業形態（対面・オンライン・ハイブリッド型）の工夫、放課後学習支援センター「ドリカムルーム」の創設、及び部活動や行事等の内容の精選と検討を重ねた。

幼保連携型認定こども園北海道文教大学附属幼稚園

幼保連携型認定こども園北海道文教大学附属幼稚園として新たな環境におけるゼロ歳から6歳までの園児の生活づくりを丁寧に行ってきた。新たな職員集団による保育体制についても共通理念の確立や意思疎通などに困難も伴ったが、全職員が心機一転して新たな取り組みに希望を抱き、着実に保育・教育を積み重ねようとする基盤が出来つつある。

Ⅲ財務の概要 令和3年度決算の概要

①資金収支計算書の状況

【資金収支計算書とは・・・(学校法人会計基準第6条)】

学園の諸活動に対応するすべての資金の流れを表すもので、令和2年度決算書より算出した前年度繰越支払金をもとに、令和3年度の収入および支出を計上した後、令和3年度の翌年度繰越支払資金を表した計算書です。

資金収支総括 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

資金収入

単位:千円

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,591,385	2,589,580	1,805
手数料収入	37,419	31,522	5,897
寄付金収入	10,160	10,157	3
補助金収入	690,843	626,704	64,139
資産売却収入	2,100	2,100	0
付随事業・収益事業収入	22,910	20,958	1,952
受取利息・配当金収入	13,914	9,142	4,772
雑収入	52,820	56,144	△ 3,324
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	401,110	441,360	△ 40,250
その他の収入	121,302	105,974	15,328
資金収入調整勘定	△ 462,806	△ 514,271	51,465
前年度繰越支払資金	4,257,325	4,257,325	0
収入の部合計(A)	7,738,482	7,636,695	101,787

資金支出

単位:千円

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,856,850	1,856,781	69
教育研究経費支出	1,098,896	1,088,849	10,047
管理経費支出	282,364	277,516	4,848
借入金等利息支出	6,600	6,600	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	171,085	170,960	125
設備関係支出	96,945	96,939	6
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	140,061	121,526	18,535
資金支出調整勘定	△ 77,694	△ 88,560	10,866
予備費	(50,000)		0
支出の部合計(B)	3,575,107	3,530,611	44,496
科 目	予 算	決 算	差 異
翌年度繰越支払資金(A) - (B)	4,163,375	4,106,084	57,291

【資金収支計算書の概要】

資金収入の部合計は76億36,695千円、支出の総額から期末未払金等の資金支出調整勘定を差引いた金額は、35億30,611千円となります。結果として翌年度繰越支払資金は、41億6,084千円となり、前年度比1億51,241千円の減額となりました。

②事業活動収支計算書の状況

【事業活動収支計算書とは・・・(学校法人会計基準第15条)】

学園の諸活動に対応する収支を3つの活動に区分することを定め、「経常的な収支」と「臨時的な収支」とに区分し、更に「経常的な収支」を「教育活動」と「教育活動外」に区分することで、それぞれに対応する事業活動収入と事業活動支出の収支内容を明らかにすることを目的としています。特に「教育活動に係る収支がどのような状態であるかを把握することが重要としています。

事業活動収支計算書総括表 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

教育活動収支

単位:千円

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	2,591,385	2,589,580	1,805
手数料	37,419	31,522	5,897
寄付金	11,711	10,553	1,158
(現物寄付)	(1,550)	(396)	(1,154)
経常費等補助金	690,843	626,705	64,138
付随事業収入	22,910	20,958	1,952
雑収入	52,658	56,056	△ 3,398
教育活動収入計	3,406,926	3,335,374	71,552
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,863,036	1,877,031	△ 13,995
(退職給与引当金繰入額)	(55,685)	(73,005)	(△17,320)
教育研究経費	1,568,541	1,559,713	8,828
(減価償却額)	(469,925)	(470,608)	(△683)
管理経費	331,207	326,312	4,895
(減価償却額)	(48,819)	(48,832)	(△13)
徴収不能額等	0	65	△ 65
(徴収不能額)	(0)	(65)	(△ 65)
教育活動支出計	3,762,784	3,763,121	△ 337
教育活動収支差額(A)	△ 355,858	△ 427,747	71,889

教育活動外収支

単位:千円

科 目	予 算	決 算	差 異
受取利息・配当金	13,914	9,142	4,772
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	13,914	9,142	4,772
科 目	予 算	決 算	差 異
借入金等利息	6,600	6,600	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	6,600	6,600	0
教育活動外収支差額(B)	7,314	2,542	4,772
経常収支差額(A)+(B)	△348,544	△425,205	76,661

特別収支

単位:千円

科 目	予 算	決 算	差 異
資産売却差額	2,100	2,100	0
その他の特別収入	8,200	7,654	546
特別収入計	10,300	9,754	546
科 目	予 算	決 算	差 異
資産処分差額	851	106,876	△ 106,025
その他の特別支出	255	214	41
特別支出計	1,106	107,090	△ 105,984
特別収支差額(C)	9,194	△ 97,336	106,530

【事業活動収支計算書の概要】

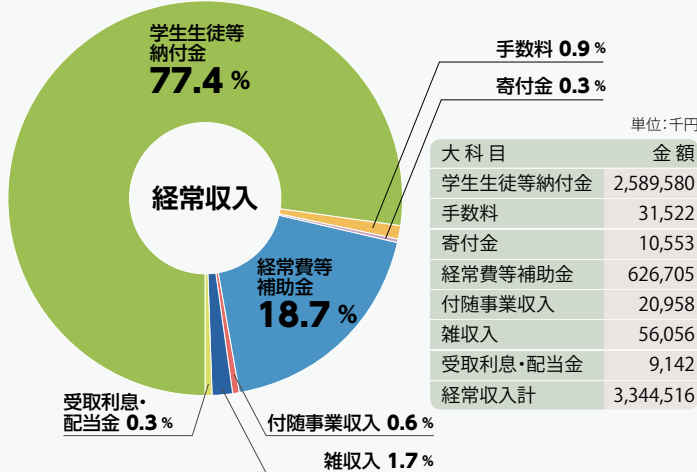
事業活動収入33億54,270千円、事業活動支出38億76,811千円です。事業活動収支計算書では、事業活動収入から事業活動支出を比較し、その収支差額△5億22,541千円から基本金組入額1億3,049千円を控除し、当年度収支差額は6億25,590千円の支出超過となりました。前年度繰越収支差額△25億23,437千円、基本金取崩額18億83,987千円であり、よって、翌年度繰越収支差額は△12億65,040千円となりました。

科目	予算	決算	差異
[予備費] (D)	(37,660)		12,340
	12,340		
基本金組入前当年度収支差額(A)+(B)+(C)	△351,690	△522,541	170,851
基本金組入額合計	△260,687	△103,049	△157,638
当年度収支差額(E)	△612,377	△625,590	13,213
前年度繰越収支差額(F)	△2,523,437	△2,523,437	0
基本金取崩額(G)	0	1,883,987	△1,883,987
翌年度繰越収支差額(E)+(F)+(G)	△3,135,814	△1,265,040	△1,870,774

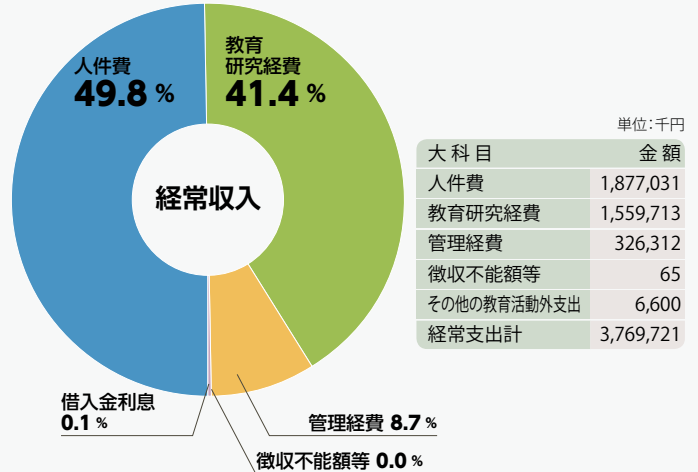
科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	3,431,140	3,354,270	76,870
事業活動支出計	3,782,830	3,876,811	△93,981

経常収入・経常支出に対する比率(教育活動収支+教育活動外収支)

経常収入の比率



経常支出の比率



3 貸借対照表の状況

【貸借対照表とは…(学校法人会計基準第4条関係)】

令和4年3月31日現在の財政状態を表した計算書類で資産と負債・純資産・繰越収支差額の状況を表しています。

資産の部

単位:千円

科目	本年度末	前年度末	増減
有形固定資産	9,984,617	10,329,767	△345,150
特定資産	970,000	970,000	0
その他の固定資産	9,905	15,729	△5,824
流動資産	4,189,405	4,361,730	△172,325
資産の部合計	15,153,927	15,677,226	△523,299

【貸借対照表の概要】

資産の部合計151億53,927千円、負債の部合計23億14,974千円となりました。純資産の部128億38,953千円は、基本金と翌年度繰越収支差額で構成された金額です。

(資産の部) - (負債の部) = 自己資本(自己資金)

負債の部

単位:千円

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,737,570	1,728,378	9,192
流動負債	577,404	587,354	△9,950
負債の部合計	2,314,974	2,315,732	△758

純資産の部

単位:千円

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	14,103,994	15,884,931	△1,780,937
繰越収支差額	△1,265,041	△2,523,437	1,258,396
純資産の部合計	12,838,953	13,361,494	△522,541
負債及び純資産の部合計	15,153,927	15,677,226	△523,299

北海道文教大学 オープンキャンパス



年内最後の
オープン
キャンパス



7/31
SUN

8/28
SUN

9/25
SUN

10/30
SUN

学科プログラム

- ・体験講義
- ・実習/キャンパスツアー
- ・学科紹介/懇談会
- ・保護者説明会 他

ガイダンス

- ・入試説明会
- ・スポーツ大好き選抜
北海道食の王国選抜

個別相談会

- ・入試について
- ・奨学金/学生生活
- ・各学科(専攻)教員による
個別相談

※学科プログラムは学科によって異なります。



詳細は公式サイトで!!

2023年4月 医療保健科学部がスタートします。

これからの超高齢社会、高度医療化に対応でき、
北海道の未来を支える医療人材を育成します。

医療3領域が1学部に



※DX:「Digital Transformation」の略



前半型選抜日程

・ディスカバリー育成型選抜	出願期間:9/25-10/4	試験日:10/15	合格発表:11/1
・プレゼンテーション総合選抜	①出願期間:9/16~10/4	試験日:10/15	合格発表日:11/1
	②出願期間:10/1~10/15	試験日:10/26	合格発表日:11/8
	③出願期間:11/15~12/5	試験日:12/14	合格発表日:12/24
・スポーツ大好き選抜/北海道食の王国選抜	出願期間:9/21-10/12	試験日:10/22	合格発表日:11/1
・運動選手自己アピール型選抜	出願期間:11/1-11/10	試験日:11/23	合格発表日:12/3
・学校推薦型選抜(一般・指定校・附属)/特待生選抜	出願期間:11/1-11/10	試験日:11/23	合格発表日:12/3

※詳細につきましては2023年度学生募集要項をご覧ください。

※看護学科は、プレゼンテーション総合選抜③、スポーツ大好き選抜/北海道食の王国選抜、運動選手自己アピール型選抜の募集はありません。



学校法人鶴岡学園
北海道文教大学

北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1
TEL: 0123-34-0059 FAX: 0123-34-0057
E-mail: kikakutyosei@do-bunkiyodai.ac.jp
<https://www.do-bunkiyodai.ac.jp>

